

みんなの広場

PATIOとは「中庭」という意味。
町民の皆さんが集い、
自由に意見を語り合う広場です。

ひとこと

o(^o^o) 新成人の皆さん
おめでとうございます！

ヘルスワンポイント 事業に改善要望

竹原博子さん(30区・古家十軒)
ヘルスワンポイント事業は、期限
が無い方がいいです。検討してい
ただけませんか。

保健センターより

お問い合わせありがとうございます。いま
ヘルスワンポイント事業の必須項
目に「特定健診・後期高齢者健診の受
診」があります。

この健診は、毎年受診いただくこと
で皆さんの健康づくりに生かされてい
くものと考えています。そのため「年度
1回」の申請をお願いします。

KOHO 広報クイズ

問題の答えをはがきで送ってください。全問正解者の中から、抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。

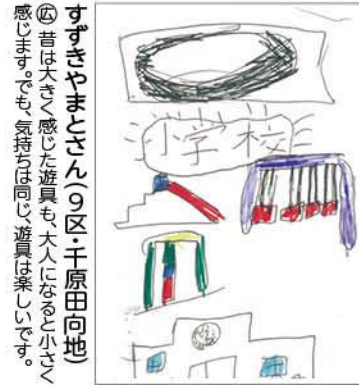
【今月の問題】

- 第1問 生活研究グループのレシピ本。〇〇品目を掲載
A.36 B.63
C.66 (ヒント16~17ページ)
- 第2問 33人が「将来の夢」を〇〇で叫んだ
A.小声 B.大声
C.鼻声 (ヒント26ページ)

応募方法 はがきに、答え(例:第1問-A)・住所・
行政区・名前・年齢・ひとことを書いて郵送
あて先 〒370-0692 邑楽町役場企画課「広報クイズ」係
締切 3月18日(日) (当日の消印有効)
※当選者は広報おうら4月号で発表します。

【2月号の当選者】(応募数32通、全問正解32通)

- ※敬称略 大塚浩子(6区) 尾花苑子(6区)
鈴木望心(9区) 久保田直美(11区)
原博子(12区) 萩原タカ子(15区)
天谷裕美(16区) 井上麻美(16区)
田尻友美(33区) 岡田勝司(34区)



すずきやまさんとさん(9区・千原田向地)
①昔は大きく感じた遊具も、大人になると小さく
感じます。でも、気持ちと同じ遊具を楽しみたいです。

まちかど 情報板

館林中央ライオンズクラブ
アイバンチャリティ・ジャズコンサート
日時 4月20日(午後2時~1時30
分開場)

○募集 家系図(家系譜)講座(前期)

邑楽町熟年力を活かす会では、家系図
作り学習会を開催します。名字や家紋か
ら自分のルーツを探してみませんか。
期日 4月16日(日)、23日(日)、30日(全
3回)
時間 午前9時30分~正午
会場 中央公民館
講師 梅田和助(邑楽町熟年力を活か
す会会長)
参加費 1,200円(テキスト代など)
持ち物 ノート、筆記用具
申込方法 中央公民館に直接申し込む
申込締切 3月31日(日)
問合せ 邑楽町熟年力を活かす会(梅
田) ☎070-1132-10223

「健康長寿講演会」

つじメンタルホスピタル(館林市)で
は「めざせー健康長寿」心身共にいきい
きとした生活を「をテーマとした講演
会を開催します。
期日 4月13日(日)
時間 午後2時(1時30分開場)
会場 館林市文化会館(館林市城町)
講師 新井康通(慶應義塾大学病院百
寿総合研究センター専任講師)、山本晃
永・井上智恵(㈱ワイズスポーツ&エン
ターテインメント)
参加費 無料
申込方法 当日会場へ来場する
問合せ つじメンタルホスピタル(認
知症疾患医療センター) ☎57-63600

○県立多々良沼公園イベント 第5回植木・野菜即売会

日時 3月16日(日)午前9時~正午
会場 県立多々良沼公園(松沼南駐車
場エントランス広場)
内容 植木や地元の新鮮な野菜の販売
問合せ 県立多々良沼公園管理事務所
☎56-9978

第1回青空ヨガ教室

日時 3月31日(日)午前10時~11時
会場 県立多々良沼公園(管理事務所)
参加費 大人500円(小学生以下無料)
持ち物 ヨガマットまたはバスタオル
など、飲み物
問合せ 県立多々良沼公園管理事務所
☎56-9978



わが家のアイドル
さとか あかり
原島 里香さん・朱里ちゃん(1歳11か月)
(石打・20区)

7歳上のお兄ちゃんのまねっこが大好きな朱里。構ってほしい気持ち
が行き過ぎ、けんかになることも。それと、とにかく体を動かすの
が大好き。いつも家中を止まることなく走り回っています。だから、
転んだり、ぶつかったり目と目が離せません。けれど、お気に入りぬい
ぐるみを持って甘えてくるところはやっぱり女の子。これからも、
お兄ちゃんに負けずに明るく元気な子に育つことを願っています。

DREAM 夢



奈良原 柁さん 19歳
Narahara Masaki (新中野・33区)

■現在は何をしていますか
大学受験が思い通りにいかず、
心が折れていた一年前。けれど、
最終的には自分の行きたい道に
近づく選択ができたと思います。
どの研究室に進もうか、模索
している大学1年生です。

■大学生活は どうですか
大学生活は、初めての体験ば
かりで慣れるまで大変でした。今
は仲間も増え、充実しています。
勉強は大変だけど、息抜きをし
ながら、目標に向かいます。『開
発の仕事に携わる』ために。

■息抜きは大切ですね。最後に今後の目標を
毎週日曜日は、サッカーにフットサルと一週間の疲れをボールにぶ
つけます。今後の目標ですか…、自立ですかね。というのも大学3年
生からはキャンパスが変わり、一人暮らしに。家では家事はほとんど
しないので不安です。けれど、これをターニングポイントだと考え、
自立への一歩を踏み出します。だから今は実家を満喫します(笑)。

俳句 文芸

幼子の握りこぶしの凍てる朝 神谷 公太郎 「おはよう」と北風の中小生
ピアノ弾く子の上達や春近し 神谷 文江 春嵐私の涙も浚ってね
麦の芽に一雨二雨欲しきかな 小林 なみ子 うつむきて麦踏む亡父の背中かな
小カブ蒔く小さな命共に生き 真下 君子 想い出の山寺に垂る大氷柱
春の雪ふわりふわりと定まらず 大川 いく代 無人駅別れのベルの甲高し
薄氷や單身赴任の話あり 中村 静江

短歌
雨ふらず寒風の中ウオーキング枯れ草の間に犬ふぐり咲く
曇り日の暮れるに早し葉がぐれに抽子は灯ともす如く色づく
御馳走と共に過ごした睦月の日ほつべふつから笑顔やさしく
夫逝きて一人密めく庭仕事笑顔求めむチューリップの芽
公園に咲く仙の座孫の間ふチャンスに教ふ春の七草
如月の風は強くも日溜りに水仙の花春の近くを
白鳥の飛び立つ時の多々良沼湖面羽はたく姿美し
冷たいと言つてられない如月の荒ぶる風も大地は芽ぶく

大塚 博司 沼田とし子 曾我 公子 山形 房江 寿命 秀次 遠藤 博道 小林 一男 持田 静江

投稿募集
①イラスト・絵手紙 ②4コマ漫画 ③詩・ポエム ④短歌・俳句
⑤告知コーナー(イベント案内やメンバー募集など)
ご質問・ご意見は、はがき・電話・FAX・Eメールなど、どんな
方法でも結構です。掲載者には粗品を進呈します。

●あて先 〒370-0692(住所は不要) 邑楽町役場企画課広報広聴係
☎47-5007 ☎89-0136 ☐koho@swan.town.ora.gunma.jp
※誌上匿名はOKですが、記念品発送などに必要ですので、必ず
実際の名前・住所・年齢・電話番号をお書き添えください。

広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面



帰省したときにも欠かさずランニング。「流すだけです」と生方さん

何やってんだ俺 まだ何もやってない



生方 敦也さん
 (前谷東原・2区)

うぶかた・あつや●1998年生まれ。中学生で陸上を始める。佐野日大高校を経て青山学院大学教育人間科学部に進学。現在、3年生。2018年関東学生陸上競技対校選手権大会(関カレ)1500mで優勝。同年の出雲駅伝で学生三大駅伝デビュー。5区を走り区間2位の激走でチームの優勝に大きく貢献。3人兄弟の長男。

「出雲、全日本、箱根。この学生三大駅伝で走りたい」。それが青山学院大学進学に挑戦した理由でした。しかし、挑戦したのも束の間。想像を越えた練習と寮のルールの厳しさで「辞めさせてください」と監督に。

「そんな中途半端な気持ちで続けていたせいもあって、故障が度重なり、満足に走れないら立ちで、二軍落ち…。チームメイトや監督の信頼も失いました。でも、今思えばそれが転機でした。「何やってんだ。俺は何しに来たんだ」って自分と向き合うことができたんです。2年の冬で

「それからは危機意識とか使命感を強く心に置きながら、自分の行動の一つ一つを見直していきました。まずは、故障しにくくバランスのよい走りができる体づくりに時間を費やすようにしました。感覚で「いける！」と臨んだ昨年の関東学生陸上競技対校選手権大会(通称関カレ)男子1,500mで優勝。トレーニングの成果が如実に現れた瞬間でした。私の中ですごく自信になりました。夏合宿を経て10月の出雲駅伝を走りました。初めて青山学院大学の駅伝メンバーとして走り、私もやっと戦えるようになったと思えました。そして今年1月の箱根駅伝の登録メンバー16人に滑り込むことができました。青山学院大学の練習は、準備、質、こだわりといずれも他の大学に負けるものではないと思います。自分の気持ち次第です。自分では、まだまだやれると思っています。実は両親に伝えたいことがあります。でも、私はまだ何かを成し遂げたわけではありません。来シーズンは私にとってラストイヤーになります。成し遂げたとこそ、両親に伝えたいと思っています。

おうちの仲間たち No.367

● 坪谷 MIX バレー ●

活動日 毎週火・木曜日
 時間 午後7時30分～9時30分
 場所 町民体育館
 問合せ先 町民体育館 ☎88-5355

大会を2週で行っていた昔に比べると寂しくなりました。チーム数は減り、各チームで練習しようと思っても、3、4人では練習になりません。ならば、チームの垣根を越えて一緒に練習したらよいのではと、バレー好きを誘って立ち上げたのが「坪谷MIX」です。下瀬監督、杉山マネージャー、大澤キャプテンの絶大なサポートと指導のおかげでメンバーは着実に力をつけています。70歳から高校生までいるメンバーでの活動は、人間形成にも役に立っていると感じています。私たちは、家族の理解と協力がなければ活動できないことを心に刻み、「どうせやるなら優勝を」と目標を掲げて、頑張ってます。バレーボールが好きな女性大歓迎。坪谷MIXと一緒に活動しませんか。



FRIENDS